類があり、開発には日本の技 にするキャップには様々な種 ットボトルなどで使われるキ ップを専門に製造してい 日々当たり前のように手 日本クロージャー (平塚市長瀞) は、 平塚

平塚 (平塚市)

そんな製造の舞台裏につい う。小川武巳工場長(54)に、 術の粋が結集されているとい

工場長

達などから64年に工場が東京 冠」と呼ばれる瓶の蓋の製造 会社として創業。交通網の発 品川から平塚工場に移転 1941年(昭和16年)二王

のパウチなどキャップの種類 どの瓶、油容器、ゼリー飲料

め、ジャムやサケフレークな

飲料用ペットボトルを始

す。

2023年度は関東地域

した。会社全体としては、全

を中心に約56億個を出荷しま

など物流網にも恵まれていま

なキャップを製造しているの

平塚工場ではどのよう

は多岐に及びます。

する横浜港に近く、高速道路

平塚工場は、原材料を輸入

L のキャップ作りに注力し始め を建て替え、昨年度は年間56 た。2010年、14年に工場 億個のキャップを製造した。 9年代からペットボトル

時の気持ちいい音も維持した 必要があり、かつ、開栓した

あり続けたいです。

聞き手・佐藤官弘

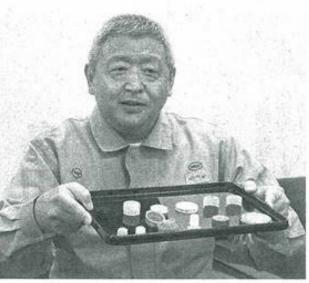
と地球環境に貢献する企業で

を配合したキャップも提供し

ています。これからも消費者

炭酸」の飲料も密封性を保つ

いところです。



1995年に日本クロージャーに入社。最初 の配属は茨城県の石岡工場で、その後は、 本社で各メーカーの商品に合うキャップの 締め具合を提案するなどの業務に従事し た。2014年からはインドネシアの工場設立 に携わり、24年から平塚工場長を務める。

ます。 しなければなりません。 かるので、耐えられる設計に あります。キャップに圧がか 料に窒素を充塡する商品も トボトルを硬くするため、 軟らかく、薄い材質のペッ 一強

以上のシェア(占有率、 国の飲料ペットボトルの半数 度)を誇ります。 昨年

用と加温用でも異なり、 えられるように設計してい 温用は高温の保管庫でも耐 って41種類あります。冷蔵 ャップだけでも、 が施されている。 飲料用ペットボトルのキ 商品ごとに様々な工夫 用途によ 加

を増やさないバイオマス材料 油由来よりも大気中のCO。 しました。燃やしたときに石 素(CO%)の削減も目指し 取り組んでいます。二酸化炭 サイクルに向けた研究開発に 石油由来のキャップを軽量化 して、使用済みキャップのリ プラスチックを扱う会社と います。 けたいメーカー側の要望に応 解を見いださなければなりま やすさ」の相反する性能が求 えるため、 状などを細かく調節し、最 キャップ内側の溝の深さや形 せん。世の中に良い商品を届 められるのです。そのため、 ップには「密封性」と「開け まさにペットボトルのキ 日々試行錯誤し

とは。 近年力を入れている